



井上 あきら

大阪府議会議員・府政短信(37)

ご意見をお聞かせ下さい

救急医療機関案内システム

必要な時に必要な救急医療を

政務調査会長として知事に直言：

大阪府と大阪市に同じような救急医療機関案内システムが運用されてきましたが、府のシステムは府民に対して直接行う案内ではなく、病院からの情報を救急隊員に対して行うもので、大阪府は直接、市民へサービスを提供しています。

府下市町村は、大阪市のシステムへ加入が進み、二重行政のひとつとして改善すべきと指摘しました。

救急搬送の内、六五%が、必要が無いのに救急車を呼ぶ「コンビニ受診」と言われており、抑制効果が期待されています。

池田市でも、昨年十二月から運用されています。

救急あんしんセンター

おおさか

#7119

または

06(65882)7119

日頃からご支援いただき心からお礼申しあげます。

私は昨年の代表質問で、大阪府と大阪市の確執を取り除き、最適サービスを考える上で、救急医療機関の案内システムを取り上げましたが、その後、池田市を含めて府下市町村は、大阪府が設置する「救急安心センター」に接続することとなりました。

虚心坦懐に話し合いをすすめ、府と市の間で二重行政解消に向けメスを入れ、節約した財源を府民サービスに振りむけることが必要です。

これからも皆様とともに全力で活動いたしますのでご指導いただきますようお願い申し上げます。

井上 あきら

府政報告会を開催

3月 5日(土) 14:00

くれは音楽堂

3月12日(土) 18:00

池田市民文化会館



大阪府市長会会長として活躍しておられる倉田市長とも大阪の将来像に協議しました。広域行政機関の大阪府が担当すべき施策、基礎自治体が担当すべき施策の仕分けをどのように進めることが必要か、常に協議を続けています。私の提案についても期待を表明していただきました。

倉田市長と密接に協議

救急救命都市・北大阪

循環器病センターを阪大病院隣接地で建て替えを

国立循環器病センターは、昭和五二年の開設以来、循環器病に関する最先端の治療と研究を推進するナショナルセンターですが、三〇年が経過し、施設、医療機器の老朽化、最新の医療を開発するための医療機器の導入や実地研修場所等の確保が困難な状況となつていきます。

そのため建て替え計画がありました。現在では中断となつていきます。



ます。

私は阪大病院隣接地に建て替え移転し、両病院の連携で大阪全体の医療環境を改善す



関西広域連合が発足し、医療連携も課題の一つです。

大阪府は阪大病院を拠点としてドクターヘリが運用されていますが、関西には和歌山と京都と合わせて3機あり、複合的な運用が可能です。導入当初は山間部での活動とされていましたが、池田のような

市街地でも有効であることがわかりました。私の要請で、猪名川グラウンドに加えて、渋谷高校と池田北高校が着陸点となりました。

大阪府がん対策条例を

検討しています

現在、府議会では子どもを虐待から守る条例に続いて、がん対策条例（公明提案）を検討しており、議員団はこの問題に取り組む団体からの意見聴取などを続けています。

がん治療の最新施設を

がん病巣をピンポイントで狙い撃ちするために切らずに

治す、がん治療の最先端治療のひとつに、重粒子線による放射線治療があります。しかし、設置費用が約百二十億円と高額なために、国内は十二施設のみとなっています。

私は梅田北ヤード再開発計画に組み入れ、済生会病院の付属施設として誘致を提案しています。

りんくうタウンで

がん治療特区を申請

りんくうタウン内に立地する民間医療機関と連携し、がん難民とも呼ばれる患者を救済するとともに、外国人にも門戸を広げます。

政府は大阪・関西空港の一体経営化の方針を決定しましたが、知事および維新の会は未だに、「大阪空港は廃止だ！世界一危険な空港だ！」と主張しています。

大阪空港活用は地域エゴではなく、関西広域連合の中で、関西経済復活への重要な役割を期待されています。

池田商工会議所会頭も年頭のあいさつで、大阪空港活性化について触れられました。

空港活性化協議会の皆さまとも連携して、全力で取りくみます。

知事！大阪空港を廃港してはならない。